

What's New From ASCIKU

関西大学科学技術振興会 No.6 January 2008

第7回研究会 ~第12回先端科学技術シンポジウム「科学技術振興会セッション」~を開催 1月17日(木) ~ 18日(金)

第12回先端科学技術シンポジウムが1月17日(木)と18日(金)の2日間開催されました。科学技術振興会の第7回研究会は、同シンポジウムの「科学技術振興会セッション」として17日、今年度は、「科学技術振興会『学の実化賞』その後の展開」をテーマに開催しました。「学の実化賞」の第1回から第4回までの受賞者(本学教員)による研究開発の状況と関連企業による事業計画について発表されました。受賞対象の翌年度の総会において、それぞれ表彰されています。



第1回『学の実化賞』(平成15年度) 「ゼラチン繊維の湿式紡糸技術の開発」



戸倉 清一先生

関西大学社会連携推進本部 特別顧問
戸倉 清一

関西大学化学生命工学部 教授

田村 裕

根来産業株式会社 取締役社長

根来 功 氏

繊維の新しい機能化技術の研究開発が進み、吸水性、防音性、難燃性などの機能性を持った繊維が企業と共同で開発されカーペットとして商品化中である。



根来産業(株) 根来 功氏
佐野 洋文氏
戸倉 清一先生
田村 裕先生

第2回『学の実化賞』(平成16年度) 「不凍たんぱく質の製造技術の開発」

関西大学科学生命工学部 准教授

河原 秀久

不凍たんぱく質の活性の評価方法の研究が進展し、用途開発の有力なツールになる。現在数社の企業と用途に関する共同研究の調整中である。



河原 秀久先生

**第3回『学の実化賞』（平成17年度）
「カルシウム塩結晶化抑制物質の精製技術
の開発」**

関西大学科学生命工学部 専任講師

山出 和弘

カワイマテリアル株式会社

代表取締役 山本 誠一 氏

カルシウム塩結晶化抑制物質の精製技術が進み、量産化技術を開発中である。企業は、天然カルシウム素材などを扱う新会社を設立、用途を開拓中である。



山出 和弘先生

第4回『学の実化賞』（平成18年度）「知覚色情報を用いた同色布判定装置の開発」

関西大学システム理工学部 准教授

倉田 純一

株式会社大日電子 代表取締役

枚本日出夫 氏

開発した同色布判定装置を他の分野への用途展開のための装置の簡易化、低コスト化の実現を図るため、企業と共同開発中である。



倉田 純一先生



枚本日出夫 氏

本セッションには、延べ人数で40名の出席があり、それぞれについて、熱心な議論が展開されました。「学の実化賞」の受賞が契機となり、着実に成果が加速されていることを実感したセッションとなりました。

さらに、ロビーでは、パネル展示により科学技術振興会活動（研究会、表彰制度など）を紹介しました。



ASCIKU 関西大学科学技術振興会

Associative Society for the Collaboration between Industries and Kansai University